

防災減災連携研究ハブ

1. 構想

日本学術会議 22 期、23 期学術大型研究計画提案課題、国際プロジェクトである災害リスク統合研究(IRDR)の発展を担う日本の拠点として、災害原因の学際究明、多様で大容量のデータや情報の統融合、災害リスクに関わる自然・社会・人間の関連性を解明する。

国内主要課題

- 南海トラフ・首都直下型地震等の国難を生き抜く
- 広域化・頻発化・激甚化する水災害のリスクを軽減する

国際主要課題

- Nation's Synthesis の推進
各国において災害リスクを軽減するための科学技術に関する情報を母国語で共有する機能を開発し、各国のナショナルプラットフォーム、国家とローカルをつなぐファシリテータがこの情報基盤を用いて、科学的知見に基づく災害リスク軽減の各国、各地の取り組みの現状や課題を俯瞰し、あるべき姿を議論し、総合的な視野で取るべき対応方策を計画し、社会に実装する（この一連の過程をシンセシスとよぶ）活動。

2. 参加機関

- 1) 東北大学災害科学国際研究所 (IRIDeS)
- 2) 東京大学地震研究所 (ERI)
- 3) 東京大学総合防災情報研究センター (CIDIR)
- 4) 東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 (EDITORIA)
- 5) 名古屋大学減災連携研究センター
- 6) 京都大学防災研究所 (DPRI)
- 7) 京都大学 ユネスコチェア (WENDI)
- 8) 九州大学アジア防災研究センター
- 9) 筑波大学レジリエンス研究教育推進コンソーシアム
- 10) 防災科学技術研究所 (NIED)
- 11) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 数理科学・先端技術研究開発センター
- 12) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)
- 13) 日本防災プラットフォーム (JBP)
- 14) 新潟大学災害・復興科学研究所
- 15) 政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター (GRIPS/SciREX)

3. ハブ参加機関責任者会議

第 1 回

- 1) 日 時 2019 年 3 月 1 日 (金) 12 時～14 時
- 2) 会 場 防災科学技術研究所・東京会議室 (マークライト虎ノ門 6 階)
- 3) 議 題
 - 防災減災連携研究ハブ設置について：構想、活動、規約、組織
 - Nation's Synthesis の推進について
 - 日本学術会議第 24 期「学術大型研究計画」申請について

- 防災推進国民大会 2019 の参加について
- その他

第2回

- 1) 日 時 2020年1月15日(水) 10:00-12:00
- 2) 会 場 防災科学技術研究所・東京会議室(マークライト虎ノ門6階)
- 3) 議 題

- 前回議事録確認
- ハブ構成員について
- 学術変革領域の申請について
- 日本学術会議一提言 について
- 防災減災連携研究フォーラム(国内外)開催について

4. 防災減災連携研究ハブ+展開委員会合同タスクフォース電話会議開催
2019年11月3日~2020年8月29日 13回開催

5. 活動

令和2(2020)年度学術変革領域研究(A) 領域計画申請

応募領域名: 21世紀の国難災害を乗り越えるだけのレジリエンスを確保できる防災統合知の構築戦略

領域代表: 林春男